

第1回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 合同部会 議事要旨

日 時：平成26年7月25日（金）16時00分～16時55分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2F 大会議室

出席者：別紙出席者一覧表

<議事要旨>

※事務局を小山市が行い、司会は渡良瀬遊水地ラムサール推進室 篠原係長で進行。

1. 開会

司会より開会の辞。

2. 部会長選任

- ・協議会で承認した「申し合わせ事項」の9により、協議会幹事会から事前に小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進室長、栃木市総合政策課遊水地ワイズユース担当主幹を選出。
- ・先行する2部会の会長はどちらが行うかは、今後の合同部会終了後に幹事会で諮り、再度部会の構成員に了承を得る。
- ・現段階での部会長について、出席構成員一致で承認を得た。

3. 挨拶

○小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進室 岡部室長

- ・渡良瀬遊水地は、動植物の宝庫。
- ・渡良瀬遊水地は、多くの方が様々な活動の場となっている。
- ・治水をはじめ自然保護など、遊水地に関わる多くの方々、団体、関係者の努力により現在の形となった。
- ・部会では、皆様の活発な意見や情報交換を行い、協力して渡良瀬遊水地の未来について保全・利活用を考えていく。

○栃木県総合政策課遊水地ワイズユース担当 荒川主幹

- ・部会を今後活発に活用し、遊水地全体としての例えばワイズユース、賢明な利用を模索していく中で将来に向けた利活用をお願いする。
- ・忌憚のないご意見をお願いする。

4. 議事

※以降、部会長である小山市 岡部室長が議長となり、議事を進行

(1) 部会の運営について

- 部会の議事録の作成、次回からの会場の調整、部会の案内の発送などは、事務局である小山市・栃木市が、利根川上流河川事務所地域連携課と共同で作業する。
- 部会は自立して運営するとあるので、部会に参加された方は会場の後片付けなど協力をお願いする。

(2) 今後のスケジュールについて

- 今後のスケジュールについて、資料-1を説明。
- 空欄となっている12月・1月・4月・5月については、今後の部会の議論状況によ

り検討。

- 開催を空けるのか、2部会をさらに交互に開催するのか、残りの2部会を立ち上げて開催するのか検討。
- 【渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏】
部会参加者は、固定されるのか、流動的なのか。
→申し合わせ事項3により、固定はない。

(3) 情報交換について

① 渡良瀬遊水地の将来ビジョン

1) 古河市

- ・旧谷中村は、旧古河藩領内にあった。
- ・平成22年度は、古河市総合計画を踏まえ、多様な自然環境を次世代に引き継ぐために、環境基本計画を策定。
- ・渡良瀬遊水地に関する取り組みは、市の環境課が主幹となり年2回の渡良瀬クリーン作戦を実施。
- ・古河バードウォッチングクラブの協力により、年2回渡良瀬遊水地の自然観察会を実施。
- ・教育委員会では、渡良瀬水辺の学校で年4回、植物・昆虫・魚・鳥などをテーマにして子供たちが自然と親しめるイベントを開催。昨年は、遊水地内で鳥の観察会を実施。毎回保護者を含め100人を超える参加者で好評。
- ・配布チラシを説明。

2) 栃木市

- ・配布資料を説明。

3) 小山市

- ・配布資料を説明。

4) 野木町

- ・配布資料を説明。

5) 板倉町

- ・配布資料を説明。

6) 加須市

- ・配布資料を説明。

7) 渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色氏より

- ・今後の部会のテーマなどに使用してもらえればと思い、具体的なことを思いつくままだに記載した。
- ・各構成員より多くのテーマを望む。

【議長より】

- ・次回からの合同部会は、具体的な検討のテーマを提案するようお願いする。

5. その他

【司会より】

- ・次回の合同部会の案内。

6. 閉会

司会より閉会の辞。